内外ウィークリー

No.77

本　社　東京都千代田区外神田３－７－５

TEL　03－3251－5351㈹

東京店　城東店　城西店　江東店

千葉店　埼玉店　水戸店　土浦店

壁紙生産・出荷量10年の推移

21年度新設住宅着工戸数25％減も 壁紙出荷量は8.1％減と減少幅縮小

リフォーム需要の貢献が要因か

一般社団法人日本壁装協会の統計によると、平成19年度から減少に転じた生産・出荷量は20年度に7億㎡を割り、21年度はさらに6億㎡を割った。ただし、21年度は生産・出荷量ともに20年度より減少率が縮小した。これは、主力の塩化ビニル樹脂壁紙の出荷量が20年度には9・3％減であったのに対し、21年度は7・3％減と減少幅が縮まったことによると思われる。

21年度の壁紙出荷量は5億9090万㎡で前年度比8・1％の減少となった。

種類別構成比は塩化ビニル樹脂系壁紙が94・0％、プラスチック系壁紙が3・7％、無機質系壁紙が1・1％、紙壁紙が0・8％、繊維系壁紙が0・3％となった。

なお、12年度から21年度までの10年間の壁紙生産・出荷量と新設住宅着工、社団法人日本インテリアファブリックス協会まとめの壁紙の市場規模を別表にまとめた。

21年度は新設住宅戸数が25・4％減と大幅減になったが、壁紙出荷量は8・1％減と一桁の減少にとどまった。これは、新設住宅以外の採用先、リフォーム需要が貢献したものと考えられる。

JAPANTEX2010

11月17日(水)から19日(金)

ビックサイト

「JAPANTEX2010」が11月17日（水）から19日（金）までの3日間、東京ビックサイト西展示ホールで開催される。主催は日本インテリアファブリックス協会。出展社約200社、640小間。入場料1千円（税込み）。

同時開催はIPEC-2010（日本インテリアプランナー協会）、インテリアフェスティバル2010（インテリア産業協会）。

また、同じ西展示ホールで生活用品トレードフェア（生活用品トレードフェア実行委員会）が開催される他、東展示ホールでは第32回ジャパンホームショー2010（日本能率協会）が開催される。

今回の開催テーマは“「Good day, Good style「飾育」―つながる、はぐくむ、まなぶ。」”

今回の見どころは40講座に及ぶインテリアセミナー。その主なものは次のとおり。

◇インテリアトークセッション・インテリア業界の各分野で活躍している“旬”の4人（西垣ヒデキ氏、南村弾氏、NOSIGNER氏、新井香奈氏）が集結、「匠たちの仕事の流儀」と題するトークセッションが行なわれる。

◇需要開拓委員会WTPセミナー・インテリア専門店・内装工事店を対象としたお客様に信頼される店づくりをコンセプトにしたセミナー。

また、アトリウム企画、2010“HOTPOiNT”テーマは「バーチャル空間　マルチ舞台」。日本の誇る舞台美術家小竹信節氏が創る異次元の世界が見所。

同展のホームページはhttp://www.japantex.jp

パンフレット表紙

壁紙の生産・出荷量、壁紙の市場規模、新設住宅着工10年の推移

一般社団法人日本壁装協会・国土交通省・社団法人日本インテリアファブリックス協会統計をもとに作成

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
生産量(㎡)	735,801,504	724,761,625	696,385,874	710,434,392	717,860,838	726,276,165	728,750,853	708,591,959	639,888,740	589,614,768
前年度比(%)	100.6	98.5	96.1	102.0	101.0	101.2	100.3	97.2	90.3	92.1
出荷量(㎡)	737,461,345	731,059,310	696,837,035	710,819,917	717,139,013	729,838,287	730,395,527	708,258,730	642,771,429	590,903,001
前年度比(%)	100.0	99.1	95.3	102.0	100.9	101.8	100.1	97.0	90.8	91.9
壁紙の市場規模(億円)	1,396.2	1,272.8	1,137.3	1,121.3	1,132.5	1,135.7	1,108.9	1,059.6	1,019.9	
前年度比(%)	87.8	91.2	89.4	98.6	101.0	100.3	97.6	95.6	96.3	
新設住宅戸数(戸)	1,213,157	1,173,170	1,145,553	1,173,649	1,193,038	1,249,366	1,285,246	1,035,598	1,039,180	775,277
前年度比(%)	98.9	96.7	97.6	102.5	101.7	104.7	102.9	80.6	103.0	74.6

マンション管理市場調査結果
共用部修繕工事市場規模
2014年までに6、038億円に

矢野経済研

㈱矢野経済研究所（東京・中野）は6月に「マンション管理市場に関する調査結果2010」を発表した。同調査におけるマンション管理市場とは分譲マンションの管理市場を指す。マンション管理費市場は、管理費をベースに推計した（除、修繕積立金）。また、共用部修繕工事市場規模は分譲マンション共用部に係る修繕工事の市場規模として推計した。その概要は次のとおり。

◆マンション管理費市場規模は、08年5、440億円、09年5、621億円と推計

08年のマンション管理費市場の市場規模（管理費ベース）は5、440億円（前年比5・4％増）、09年は5、621億円（同3・3％増）と推計した。

◆マンション管理費市場規模の短・中期的な見通しは、10年5、729億円、11年5、847億円と予測

10年のマンション管理費市場の市場規模は5、729億円（前年比1・9％増）、11年は5、847億円（同2・1％増）と予測する。

◆共用部修繕工事市場規模は、08年5、024億円、09年5、746億円と推計

08年の共用部修繕工事市場の市場規模は5、024億円（前年比7・5％増）、09年は5、746億円（同14・4％増）と推計した。

◆共用部修繕工事市場規模の短・中期的な見通しは、14年までに約6、000億円まで拡大すると予測

築年数別のマンションストック数と工事部位別の修繕周期との関係から10年、11年は若干落ち込むものの14年までに6、038億円まで拡大すると予測する。

資料名・「2010年版マンション管理の市場展望と事業戦略」

22年3月末　建設業許可業者数
前年同月比0.8％増に
内装仕上業者は3.4％増の6.6万業者に

国交省

国土交通省は5月19日に平成22年3月末現在における建設業許可業者数調査の結果を発表した。それによると大臣許可業者と知事許可業者を合わせると全国で513、196業者、前年同月に比べ4、022（0・8％）の増加となった。

都道府県別許可業者は、東京都47、496業者、大阪府39、378業者、神奈川県28、608業者と多く、鳥取県2、425業者、島根県3、276業者、高知県3、348業者と少ない。

22年3月末の一般建設業許可業者数は490、895業者で前年同期比4、429業者、0・9％増となり、一般建設業許可業者数が最も多かった平成12年3月末時点と比較するとマイナス86、814業者（▲15・0％）の減少。

特定建設業許可業者は46、661業者で、前年同期比マイナス773業者（▲1・6％）の減少となり、特定建設業許可業者が最も多かった平成17年3月末時点と比較するとマイナス4、515業者（▲8・8％）の減少となった。

なお建設業の許可は、28の業種区分が儲けられているが、前年同月に比べて取得業者数が増加した許可業種は22業種で、増加率は「熱絶縁」、「鉄筋」、「ガラス」、「防水」の順。

「内装仕上」は増加率10番目で前年同期比3・4％（2、194業者）増となり、65、993業者となった。

住宅エコポイント実施状況
7月末までの申請43、808戸
追加経済対策で期間延長

国交省

国土交通省はエコポイントの活用による環境対応住宅普及促進事業（住宅エコポイント事業）の実施状況について8月10日に発表した。発表されたのは平成22年7月末時点での同事業の実施状況。

1、住宅エコポイントの申請状況

(1)平成22年7月の合計

①新築16、684戸

②リフォーム27、124戸

③合計43、808戸

(2)申請受付開始からの累計

①新築34、072戸

②リフォーム91、365戸

③合計125、437戸

2、住宅エコポイント発行状況

(1)平成22年7月の合計

①新築・11、643戸（3、492、900、000ポイント）

②リフォーム・26、443戸（1、521、520、000ポイント）

③合計38、086戸（5、014、420、000ポイント）

(2)申請受付開始からの類計

①新築23、051戸（6、915、300、000ポイント）

②リフォーム75、155戸（3、904、788、000ポイント）

③合計98、206戸（10、820、088、000ポイント）

なお、政府は8月に発表した追加経済対策に、「住宅版エコポイント制度」、「優良住宅取得支援制度（フラット35S）」の延長を盛り込んだ。

「住宅エコポイント プラス エコリフォーム パンフレット」2種

ベターリビング

㈶ベターリビングでは、「住宅エコポイント プラス エコリフォームパンフレット」を作成、財団HPで公表している。パンフレットは、消費者向けと、事業者（工事施工者）向けの2種類を作成「住宅エコポイント関連情報の頁」（http://www.cbl.or.jp/ecopoint/info.html）からダウンロードして利用できる。

消費者向けパンフレットは、住宅エコポイントの概要やポイントを利用した、プラスエコリフォームについてわかりやすく解説。

一方、事業者（工事施工者）向けパンフレットは、住宅エコポイントおよび即時交換の申請方法を詳しく解説している。

この件に関する問合せ先は同財団住宅部品コールセンター電話03-5211-0589。FAX03-5211-0593。

サンゲツ東京ショールーム〈クレリア〉全面改装
より見易く、選び易く

サンゲツは東京ショールーム〈クレリア〉を7年ぶりに全面改装、6月4日にリニューアルオープンした。その特長は次のとおり。

■モデルブースの設置

住居・宿泊施設や文教施設、医療施設などの各種施設向けの最新トレンド、機能性商品を提案するコーディネイトブース。

■商品展示

約13、000点の商品群を、一新した展示什器で見やすく機能的に展示。

■コンサルテーションカウンター

総合インフォメーション。館内案内や商品の紹介、カットサンプルの提供等。

■セミナールーム

インテリアに関するトレンド情報や新商品情報など、最新情報を発信するセミナーを開催。